

平成29年度 早わかり

# 船橋の台所事情

～これであなとも予算ツウ～



2017  
FUNABASHI

船橋市市制施行80周年

新たな船出、夢の懸け橋、ふなばし80年

船橋市の **予算** をわかりやすく説明します

 船橋市

# 今年、船橋市は80周年 更なる20年後の将来に向けて

今年、本市は昭和12年の市制施行から80周年となりました。これまで、様々な取り組みがなされ、活力ある現在のまちの姿があります。

平成29年度の本市の一般会計予算は、3年連続2,000億円を超える大きな予算となりました。市の予算は後期基本計画に基づき市の施策を具体化するために、様々な事業に使われます。



予算は、現在の施策を実施するために使われる一方、過去の建物等の建設や整備のために借入れたお金の返済や、今後の返済のための積立てにも使われます。

さて、わが国全体の人口は平成20年をピークに人口減少が始まりましたが、本市の人口は増え続けており、本年4月には63万人を超えました。

平成28年3月に作成した「人口ビジョン」では、平成37年（2025年）頃までは緩やかに増加を続け、その後は減少に転じる見通しであり、年少人口及び生産年齢人口の減少、75歳以上人口の増加により、社会全体も大きく変化していくと思われま

す。今の子どもたちが大人になる20年後の将来を見据えた準備をし、活力あるまちであり続けるためには、財政が健全に運営されていくことはとても重要です。

市の予算、財政状況、今後の課題等がどのようなになっているかを知っていただくために、今年も、「船橋の台所事情」を作成しました。一人でも多くの市民の皆さんに本市の台所事情（財政状況）に興味を持っていただければ幸いです。

平成29年  
船橋市長 松戸 徹

## も く じ

予算の基礎知識	2	平成29年度予算の主要事業	10
一般会計歳入	4	船橋市の財政状況	13
一般会計歳出	6	健全な財政の維持と 行財政改革	19
船橋市の家計簿	9		

# 予算の基礎知識

## 「予算」とはなんですか？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

## 予算はどのように決めるの？

### 収入

市民の皆さんから納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

### 支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。

見積もった収入ですべての仕事ができればいいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、後期基本計画（※10ページ参照）との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

これを「当初予算」と言います。

市役所の作業

予算編成方針 8月

予算要求 10月

市長査定 1月下旬

### 予算案提出

市議会の審議

予算案審議 2月下旬

### 議決

当初予算成立 3月下旬

## 決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算（当初予算）は、3月に市議会での議決を受けて決まります。

しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

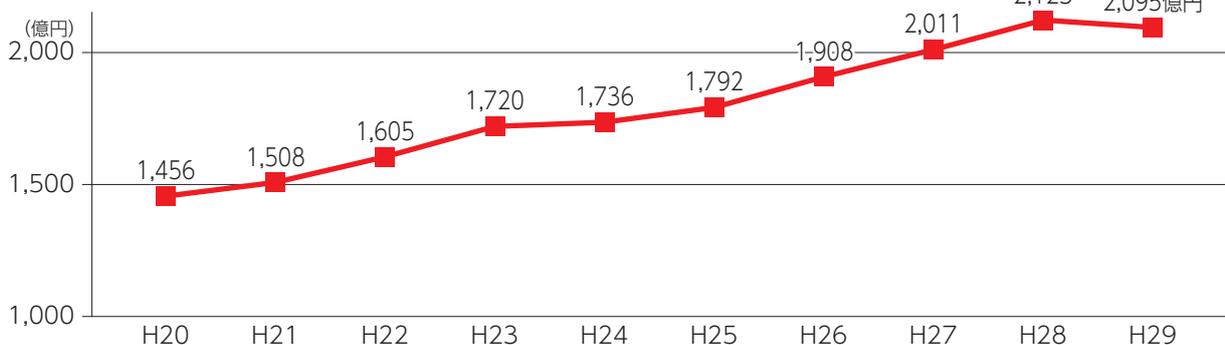
# 予算の規模と会計の仕組み

## 一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。

平成29年度の予算規模は、2,095億円で前年比1.3%減です。予算規模が前年度を下回るのは平成20年度以来9年ぶりのことです。

### 一般会計予算額の推移



## 特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料、下水道使用料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区 分		平成29年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	683億4,100万円
	下水道事業	280億1,500万円
	公共用地先行取得事業	15億1,900万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	7億6,900万円
	介護保険事業	409億600万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億円
	後期高齢者医療事業	67億3,000万円
計		1,463億8,000万円

※平成28年度をもって小型自動車競走事業特別会計は廃止となりました。また、公共用地先行取得事業特別会計は平成20年度以来9年ぶりの予算となりました。

## 公営企業会計

市が企業性格を持った事業（市場、病院）を運営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収益を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

区 分		平成29年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	13億2,600万円
	病院事業	182億4,600万円
計		195億7,200万円

# 一般会計歳入

## 市の収入にはどんなものがありますか？

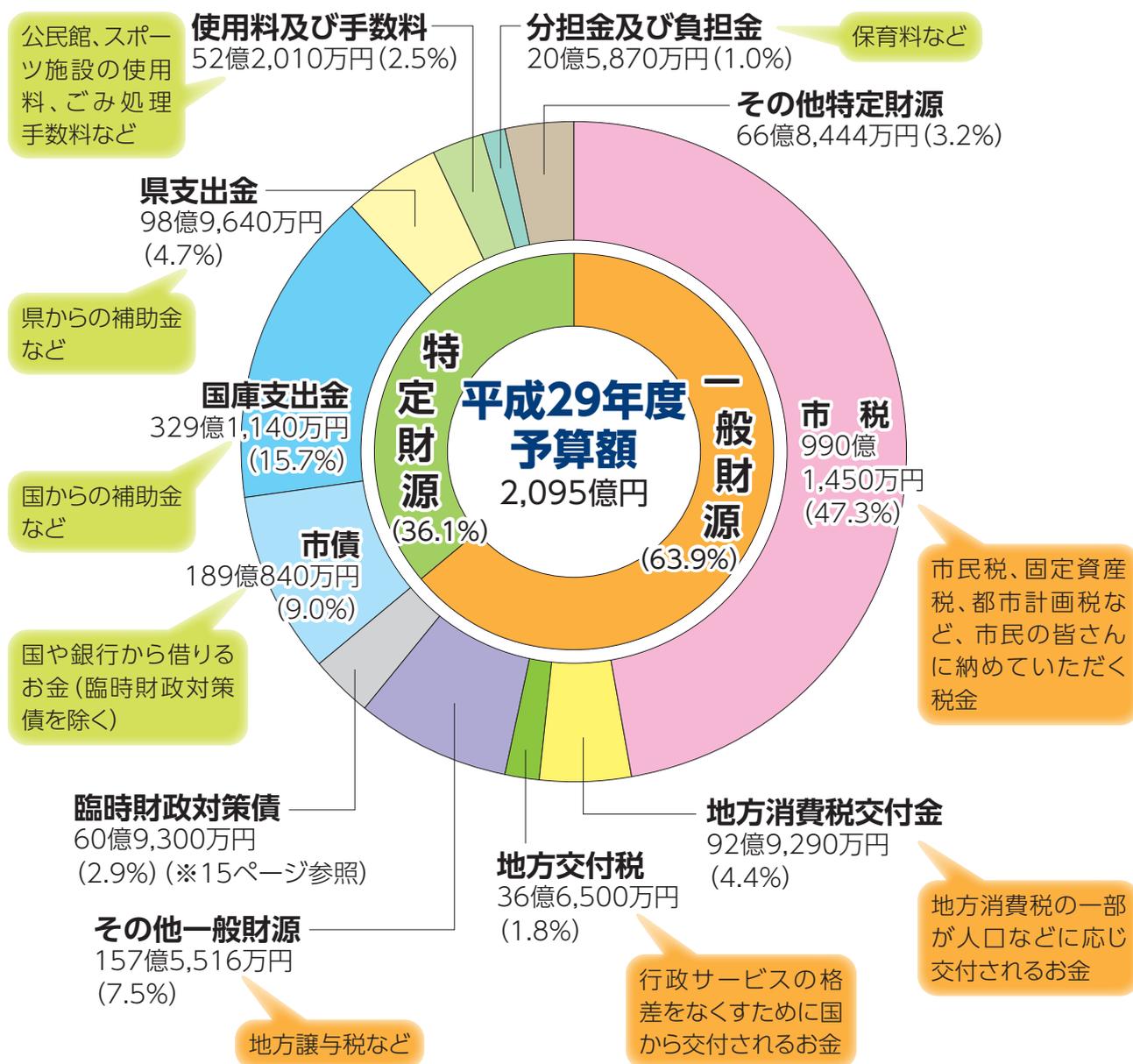
市の歳入（1年間の市の収入をいいます）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道があらかじめ決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などです。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決められているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、清掃工場の建て替えなどに使うため、国や銀行から借りる市債などです。

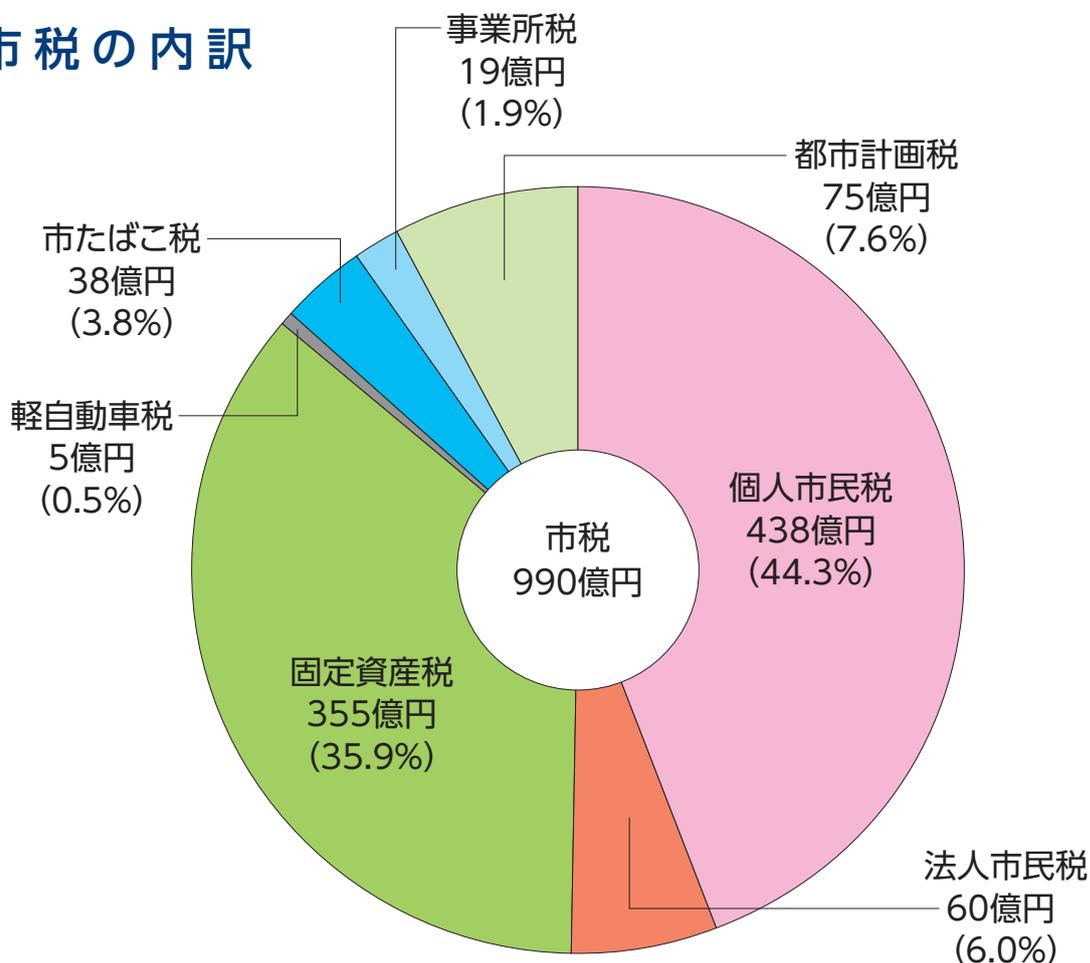
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



## 市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。その内訳は、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

### 市税の内訳



**個人市民税** 市民の皆さんに納めていただく税金

**法人市民税** 市内に事業所等がある法人に納めていただく税金

**固定資産税** 土地・家屋・償却資産(事業用の機械など)にかかる税金

**軽自動車税** 軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

**市たばこ税** たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金

**事業所税** 都市環境の整備等の費用に充てるため事業所等に納めていただく税金

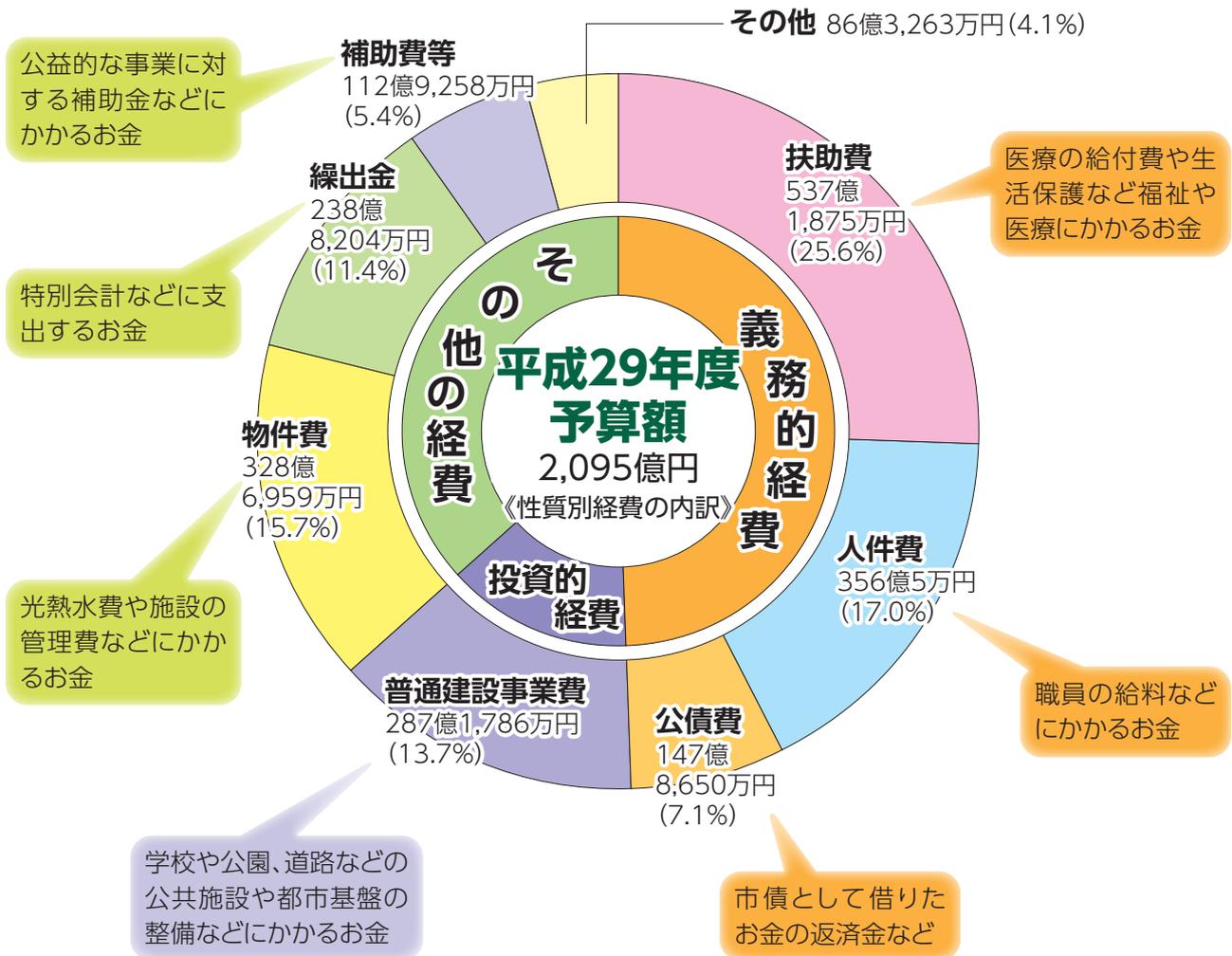
**都市計画税** 下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

# 一般会計歳出

## 市の支出にはどんなものがありますか？

### 性質別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の性質に着目して分類しました。



### 義務的経費・投資的経費とは…

法令等により支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費のことを「義務的経費」と言います。また、道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費のことを「投資的経費」と言います。

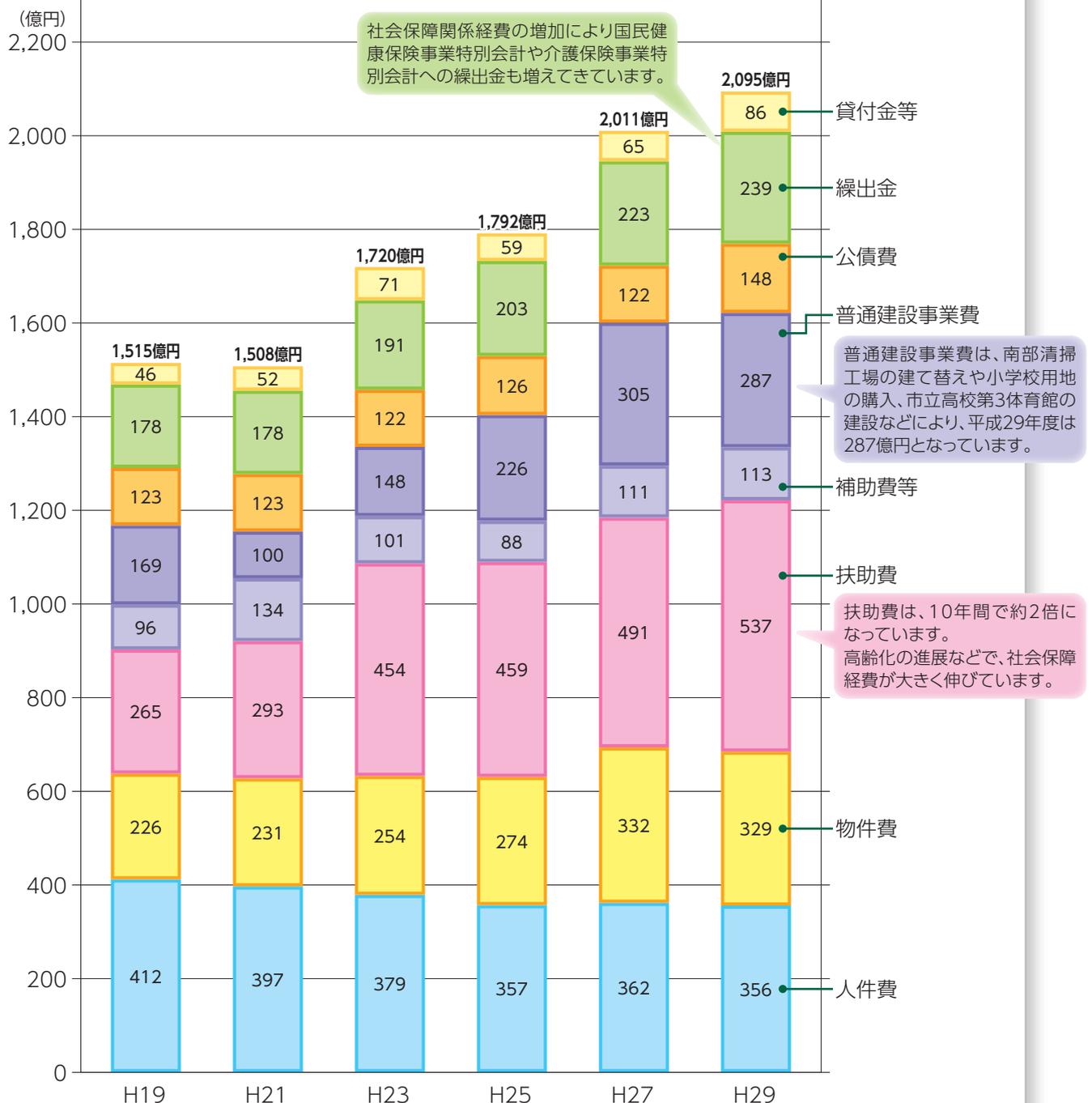


## 性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で580億円も増えています。義務的経費である扶助費は高齢化の進展や生活保護費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約2倍（272億円増）になっています。繰出金も国民健康保険事業や介護保険事業などの社会保障経費の増加により増えています。

投資的経費である普通建設事業費は、集中的に取り組んだ小・中学校の耐震化や南部・北部清掃工場の建て替えなどにより近年増加しており、10年前に比べ約1.7倍（118億円増）になっています。

### 一般会計 歳出予算額の推移（性質別）



# 市民生活に身近な予算の内訳

皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

## 1 ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間64億円かかります。

世帯数 279,390 世帯 (29年4月現在)

1世帯あたりにすると年額 22,762 円です。

市税など 18,652円	使用料・手数料 4,096円	その他 14円
-----------------	-------------------	------------



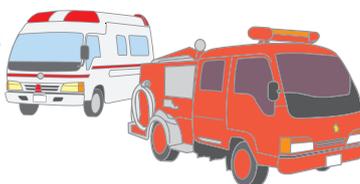
## 2 消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間58億円かかります。

人口 629,065 人 (29年4月現在)

市民 1 人あたりにすると年額 9,171 円です。

市税など 9,119円	国・県補助金 2円	その他 50円
----------------	--------------	------------



## 3 小学校の管理運営にかかる予算

小学校の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間21億円かかります(教職員の人件費は除く)。

児童数 33,644 人 (29年5月現在)

児童 1 人あたりにすると年額 61,433 円です。

市税など 61,361円	国・県補助金 68円	その他 4円
-----------------	---------------	-----------



## 4 公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間33億円かかります。

人口 629,065 人 (29年4月現在)

市民 1 人あたりにすると年額 5,206 円です。

市税など 2,757円	市債 1,447円	国・県補助金 674円	繰入金など 328円
----------------	--------------	----------------	---------------



## 5 介護サービスにかかる予算(介護保険事業特別会計)

介護サービスの実施等にかかる費用などで年間409億円かかります。

要介護・要介護支援認定者数 24,736 人 (29年4月現在)

対象者 1 人あたりにすると年額 1,653,703 円です。

介護保険料 836,609円	国・県交付金 566,769円	市税など 246,375円	その他 3,950円
-------------------	--------------------	------------------	---------------



# 船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2,095億円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収420万円（※）（給与月収35万円）であらわしてみました。

## 毎月の収入

**給 与** 350,000円

(うち基本給<市税> 224,000円)  
(うち諸手当<地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など> 126,000円)

**家 賃 収 入** 60,000円

(分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など)

**親からの仕送り** 8,000円

(地方交付税)

**家の増改築等のローン(借金)**

(市債) 57,000円  
(うち臨時財政対策債：14,000円)

**合 計** 475,000円

## 毎月の支出

**食 費** 81,000円

(人件費)

**医療費など** 122,000円

(扶助費)

**光熱水費や電話代などの生活費**

(物件費、補助費等、維持補修費など)  
120,000円

**子供への仕送り** 54,000円

(他会計への繰出金)

**家の増改築費** 65,000円

(普通建設事業)

**ローンの返済(借金)** 33,000円

(公債費)

**合 計** 475,000円

※年収420万円は、国税庁が調査した平成27年分民間給与実態統計調査の平均給与額。



市では、(公財)千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「オータムジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

平成28年度は、これらの収益金を「災害関連事業及び図書館蔵書ICタグ貼付事業」の財源の一部に活用しました。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は、千葉県内の宝くじ売り場で!!

# 平成29年度予算の主要事業

平成29年度の予算は、市の抱える諸課題を重点的かつ計画的に解決するため、「後期基本計画※」の「めざすまちの姿」で示す6つの取り組みを着実に実施するとともに、施策を進めるうえで重点としている「子どもたちの未来につながる施策の推進」、「船橋の持つ力をさらに伸ばすこと」、「一体感を育むまちづくりの推進」を念頭に置き、「人と人をつなぐこと」を基本的な柱として予算配分を行いました。

ここでは平成29年度予算に計上した主要事業を6つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※市政運営を総合的かつ計画的に進めていくために「基本計画」があります。特に平成24年度から平成32年度までの9年間を「後期基本計画」と呼んでいます。

## 非常時への備えのあるまち

### ●防災行政無線の整備（2億9,464万円）

防災行政無線のデジタル化を進めます。また、聞き取りにくい地域4カ所にスピーカー等の放送設備を設置します。

### ●古和釜町・松が丘地区に消防分署や消防訓練場を整備（3億5,961万円）

消防力の充実・強化を図るとともに、複雑多様化する各種災害の発生に備え、消防職員及び団員等の災害対応能力の向上を図るため、古和釜町・松が丘地区に消防分署及び消防訓練場を整備します。（平成31年度開署予定）



平成31年度開署予定の消防分署・消防訓練場のイメージ

## 安心して暮らせるまち

### ●障害児（者）施設や子育て支援施設の防犯対策（6,131万円）

障害福祉施設や障害児通所支援施設、私立保育所等を運営する法人に対し、防犯カメラの設置など不審者の侵入防止に必要な施設改修をした場合、整備費の一部を補助します。

また、市立保育所17カ所、児童ホーム19カ所等にも防犯カメラを設置し、防犯対策の強化を図ります。

### ●特別養護老人ホームの入所待機者対策等（4億700万円）

特別養護老人ホームの入所待機者対策として、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対し、整備費の一部を助成します。

また、開設後満10年以上を経過した軽費老人ホームの改修費の一部を助成します。



「ふなばしシルバーリハビリ体操」でいつまでも元気に

### ●歩行者等の安全対策（5億1,636万円）

歩行者が安全に通行できる空間や生活道路の安全を確保するため、歩道や「ゾーン30※」（6カ所）の整備を行います。また、自転車を安全で快適に利用できるよう、自転車走行箇所をカラー舗装します。

※ゾーン30：生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせる生活道路対策のこと。

## 未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち

### ●ふなばし三番瀬環境学習館の運営開始(9,723万円)

四季を通じて三番瀬の仕組みや生物、歴史、営みをテーマにした展示物や体験コーナー等、三番瀬をはじめ、広く環境について学ぶことができる「ふなばし三番瀬環境学習館」が平成29年7月にオープンしました。



ふなばし三番瀬環境学習館と噴水広場



三番瀬に暮らす生きものやその営み、歴史を体感できる「そうぞうシアター」

### ●南部清掃工場の建て替え(19億290万円)

設計から建設、運営を一括して民間事業者が行うDBO方式による南部清掃工場の建て替え工事を進め、平成32年4月の稼働を目指します。

## 笑顔があふれる子育てのまち

### ●待機児童解消に向けた保育の受け皿確保(10億7,085万円)

待機児童が特に多い鉄道沿線等を重点化して、認可保育所・小規模保育施設整備を促進するほか、幼稚園の認定こども園への移行を促進します。

### ●塚田地区の保育所、小・中学校用地の取得(39億1,330万円)

大規模なマンション開発等が進む塚田地区で将来の児童数等の増加に対応するため、工場跡地の一部を保育所用地、(仮称)塚田第二小学校用地として取得します。また、行田3丁目の国家公務員宿舎跡地を、隣接する行田中学校の運動場拡張用地及び新設中学校の建設予定地として取得します。

### ●放課後ルームの整備(1億1,504万円)

放課後ルームの待機児童解消を目指し、小栗原、若松、葛飾、法典東の各放課後ルームの定員拡大を図るため整備を行います。また、新設予定の(仮称)塚田第二小学校の校舎内に放課後ルームを設置するための設計を行います。

## 人が集まる元気なまち

### ●海老川上流地区のまちづくり検討（4,755万円）

土地区画整理事業の区域を確定させ、測量業務、基本設計等を行います。また、千葉大学の知見を活かしつつ、必要な機能を整理・検討し、メディカルタウン構想を策定します。

### ●JR船橋駅南口駅前の整備（1億3,100万円）

中心市街地の円滑な交通を確保するため、船橋駅南口駅前広場から京成本線高架までの都市計画道路を整備し、平成29年8月の供用開始を目指します。

また、同道路を横断するペDESTリアンデッキ（フェイスビル～西武百貨店）を設置するための基本設計を行います。



多様なアトラクションが充実した運動公園プール

### ●運動公園プールの再整備（7億611万円）

運動公園プールは、レクリエーション機能を持った施設として、平成29年7月にオープンしました。

## 市民に愛され、育まれるまち

### ●船橋を舞台とした映画製作への支援（1,000万円）

市内在住の小説家である森沢明夫氏の船橋を舞台とした小説「きらきら眼鏡」が、映画化されることに伴い、協賛等を行い、シティセールスにつなげます。

### ●取掛西貝塚の保存・整備、市内遺跡のPR（1億416万円）

全国的にも希少な縄文時代早期前半（約1万年前）の貝塚である取掛西貝塚（飯山満町1丁目）について、地形測量・発掘調査を行い、遺跡保存のための土地を取得し、整備します。また、市の遺跡の魅力をわかりやすく伝える市民向け読本「ふなばしの遺跡」を刊行します。

## 市制施行80周年記念事業

市制施行80周年の節目の年である平成29年度に、下記の事業をはじめ様々な記念事業を行います。

### ●映像教材「小・中学生のための船橋のあゆみとみらい」の制作等

市が所蔵する写真等の資料やまちの歴史・文化財を取りまとめた映像教材「小・中学生のための船橋のあゆみとみらい」を制作し、小・中学校の授業で利用することで、故郷を誇りに思う気持ちを育みます。

### ●姉妹・友好都市との交流

姉妹・友好都市から文化団を招き、これまでの交流の歩みを祝うとともに、市民同士のさらなる親善交流を図ります。また、今年は日本・デンマーク外交関係樹立150周年にもあたるため、同親善大使を招いて交流事業を開催します。



船橋市市制施行80周年

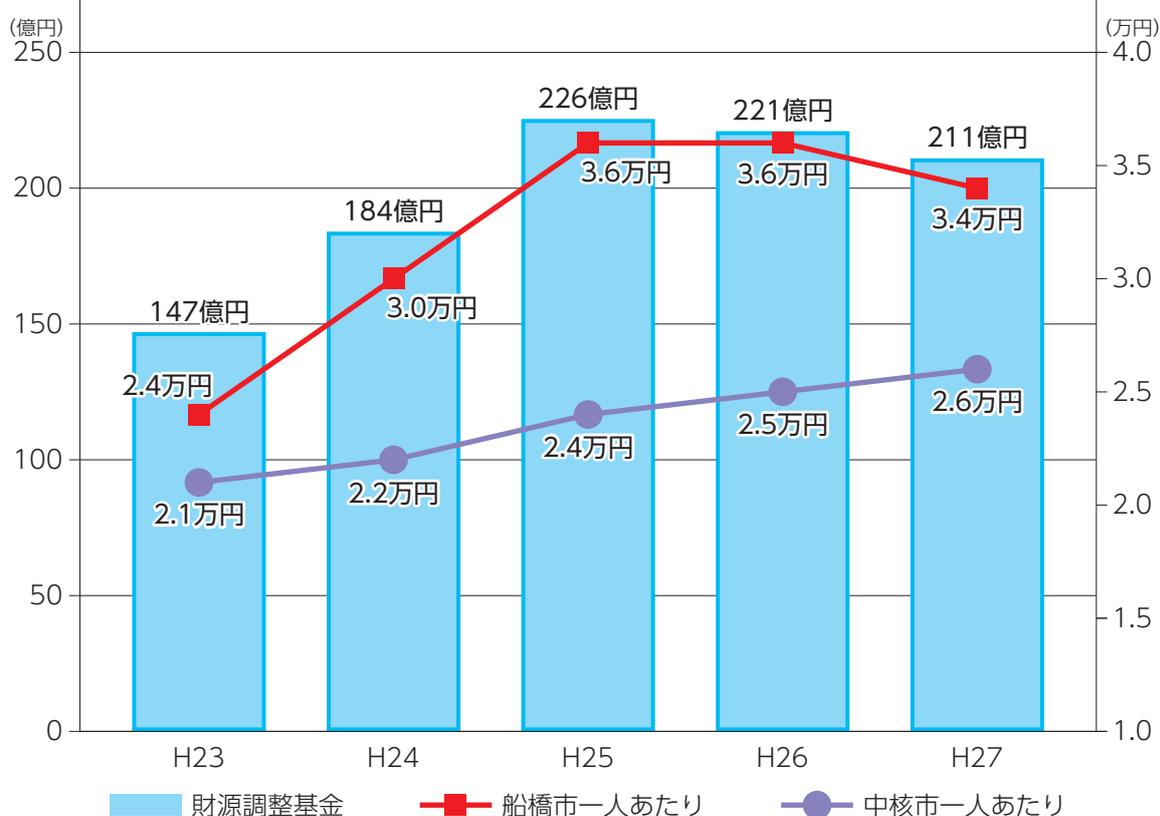
# 船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政が健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

## 貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応等に備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。

### 基金残高推移



## 財政状況の比較は中核市同士で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

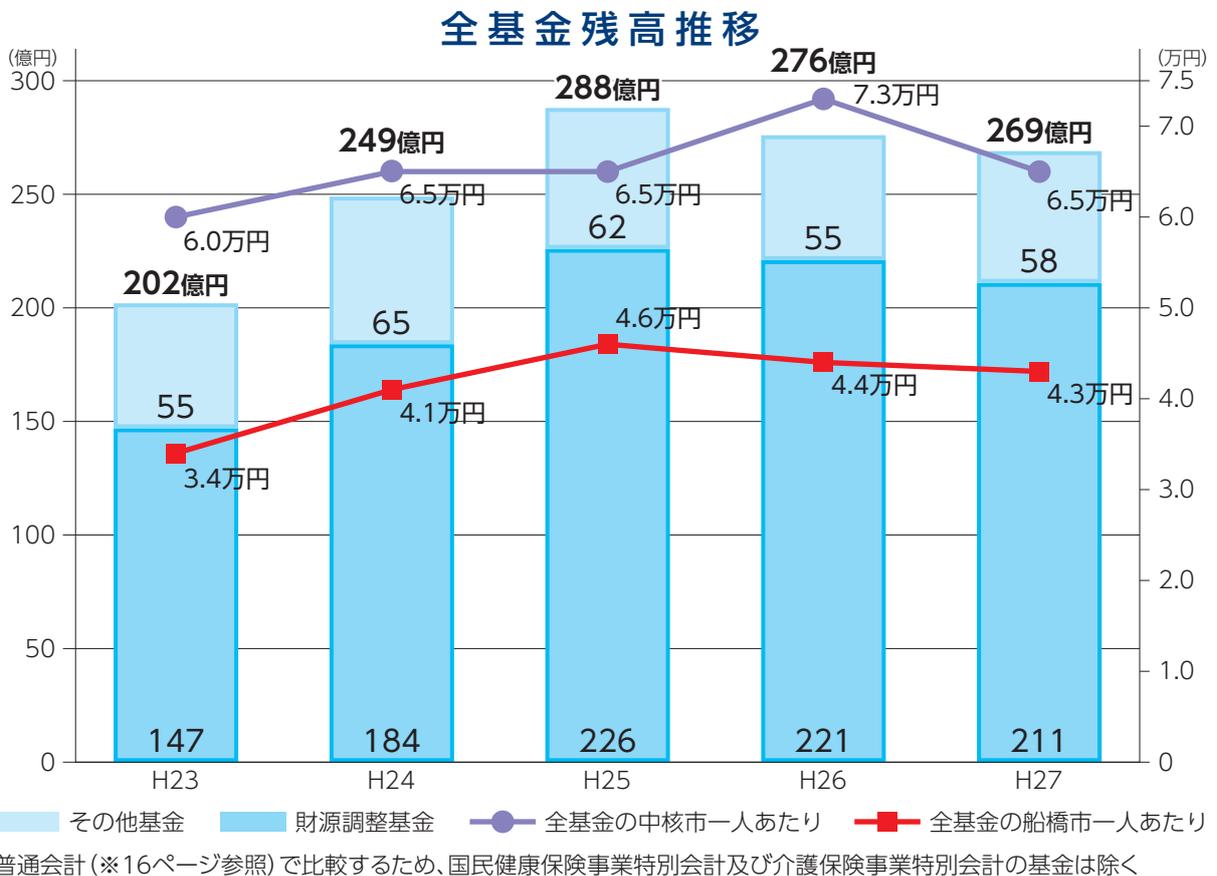
また、政令指定都市や中核市は、都道府県の行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行なっている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、同じ中核市同士で比較します。

## その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金の他にも、特定の目的のために使用する貯金（特定目的基金）や一定額の貯金そのものを原資として貸付等の事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
特定目的	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
定額運用	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

## 船橋市の貯金額はどれくらい？



中核市で比較すると、本市の財源調整基金の一人あたりの基金残高は多くなっています。しかし、全ての基金を合わせてみると一人あたりの貯金は決して多くありません。

### 財源調整基金では……

船橋市一人あたり3.4万円  
中核市一人あたり2.6万円

船橋市 **14位** / 45市中

### 全基金では……

船橋市一人あたり4.3万円  
中核市一人あたり6.5万円

船橋市 **33位** / 45市中

## なぜお金を借りるの？

「借金は少ない方がよい」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を1年間の予算だけで賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

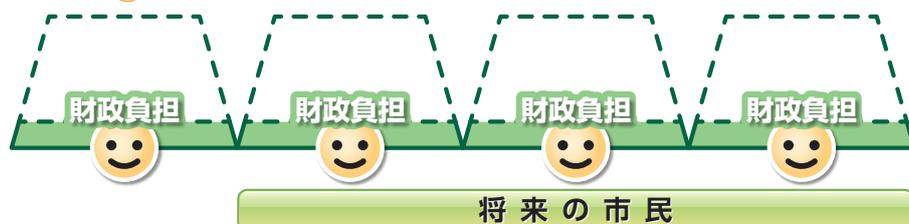
また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることとなります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと ▶ 公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし



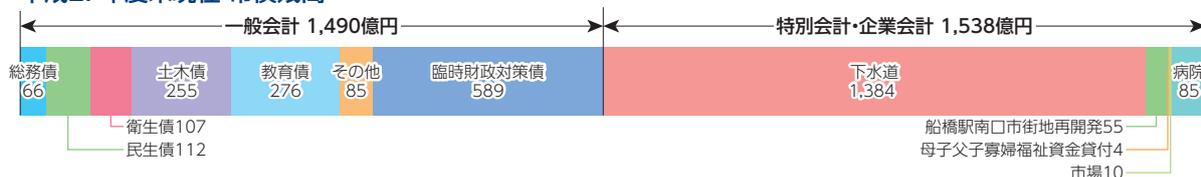
市債(借金)をして ▶ 将来の市民も整備費用を公平に負担します



## 今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、平成27年度末に、一般会計で1,490億円、全会計で3,028億円となっています。その使い道は、学校や道路、公園、下水道、医療センターといった施設が中心です。近年は、小・中学校等の公共施設の耐震化などに多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が大きくなっています。

平成27年度末現在 市債残高



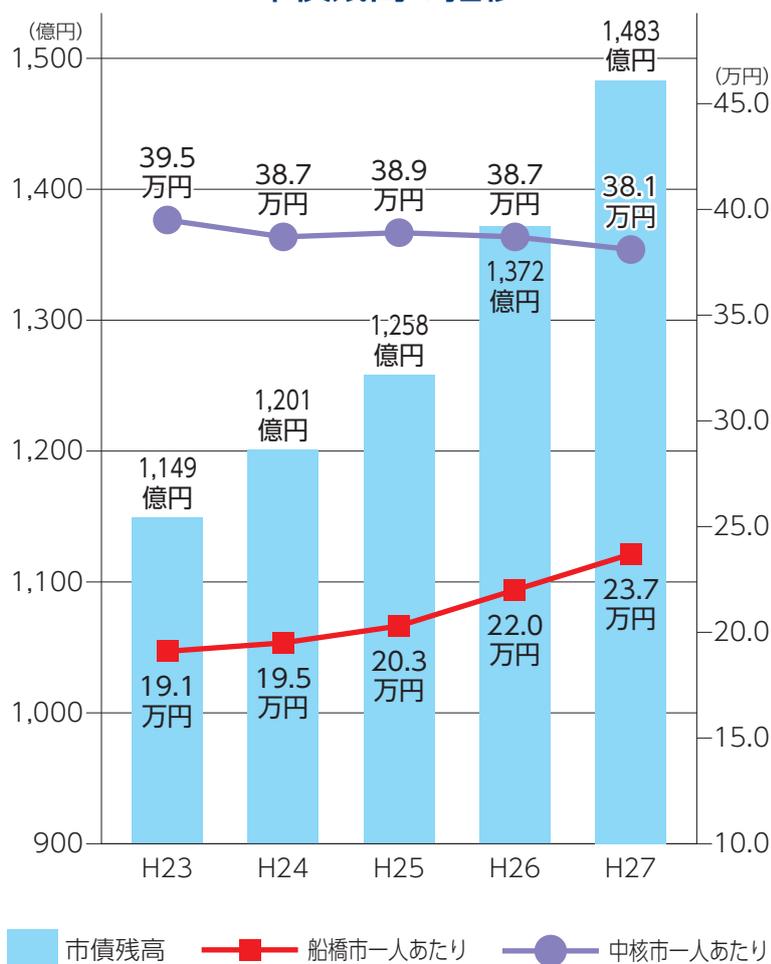
- 総務債……………出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- 民生債……………障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- 衛生債……………清掃工場、保健福祉センターの整備など
- 土木債……………道路・公園・橋りょう・河川の整備など
- 教育債……………小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- 臨時財政対策債…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりに借金をするもの。返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます。

## 近年、市債の残高が増えているけれど？

平成27年度末の市債残高は1,483億円（※普通会計）で、人口1人あたりの金額は236,608円となります。これは全国の中核市45市（平均381,274円）の中では8番目に少ない額となります。

しかしながら、近年、市債の残高が増えています。これは、前ページでも述べたとおり、東日本大震災以降、小・中学校をはじめ公共施設の耐震化のための建て替えや補強工事に力を入れてきたため、その財源として市債の発行が大きく増えたことによるものです。

### 市債残高の推移



### 普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

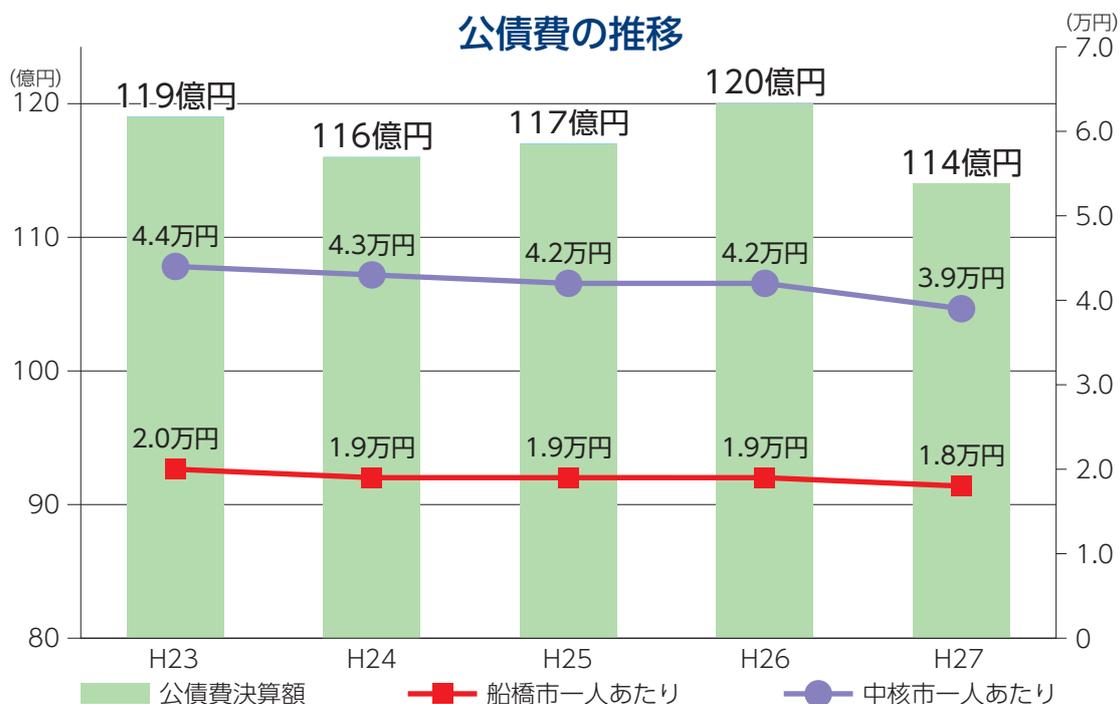
## 返済は大丈夫なの？

市債の償還金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

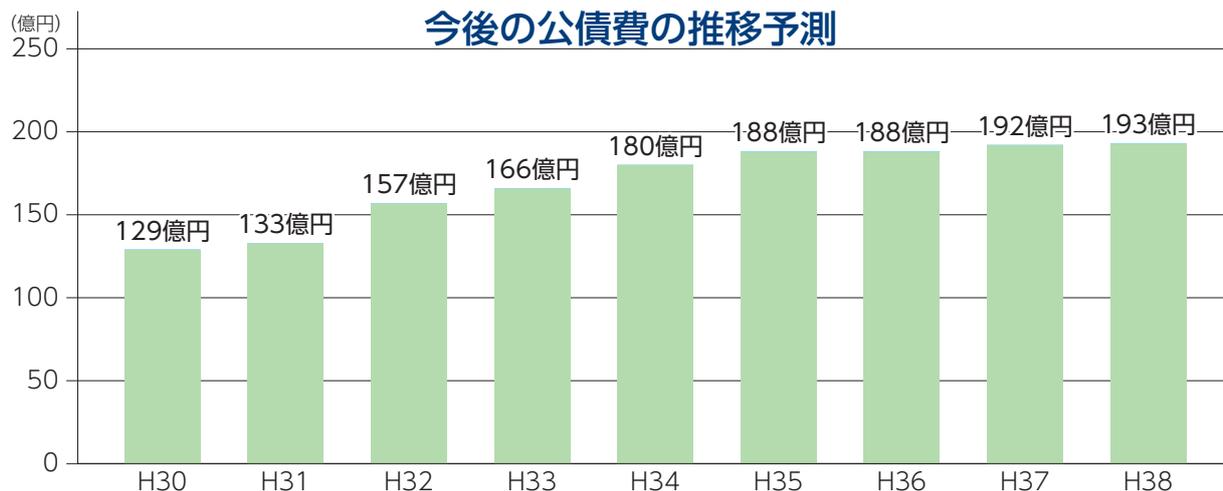
平成27年度の公債費の決算額は114億円（普通会計）で、人口1人あたりの金額は18,125円となります。これは全国の中核市45市（平均39,422円）の中では2番目に少ない額となっています。

しかし近年、市債残高が増え続けています。今後も、清掃工場の建て替えなど公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があることから、市債を発行しなければなりません。現在の公債費は120億円程度で推移していますが、将来は190億円を超える水準となることが予想されています。今後は、将来の返済の負担が大きくなりすぎないように、建設事業の実施を必要性に応じて厳選するなど、市債の発行をできる限り少なくするよう努めていかなければなりません。

## 公債費の推移



## 今後の公債費の推移予測

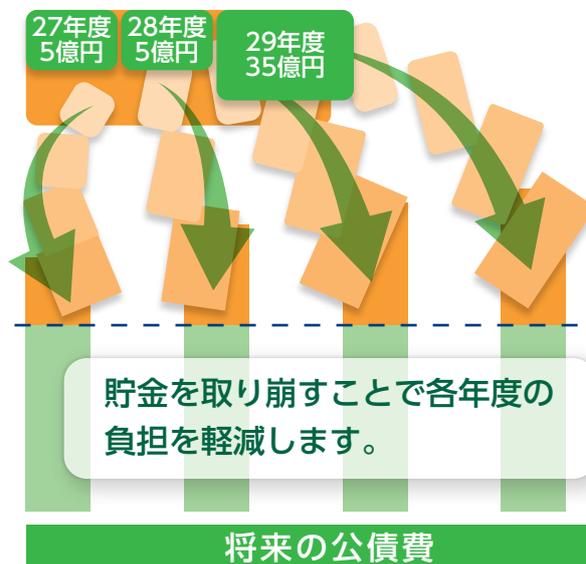


### ●減債基金への積み立て

将来、公債費が増加したときに備え、平成27・28年度予算においてそれぞれ5億円を減債基金に積み立てました。平成29年度予算においては35億円を積み立てます。

減債基金とは、公債費の償還にだけ使える貯金で、平成30年度以降も積み立てを行っていきます。そして、公債費が増加したときに取り崩す（引き出す）ことで、公債費が大きな負担とならないようにします。

### 減債基金(貯金)



## 船橋の財政状況はいいの？

北海道夕張市の財政破綻をきっかけに、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的として、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

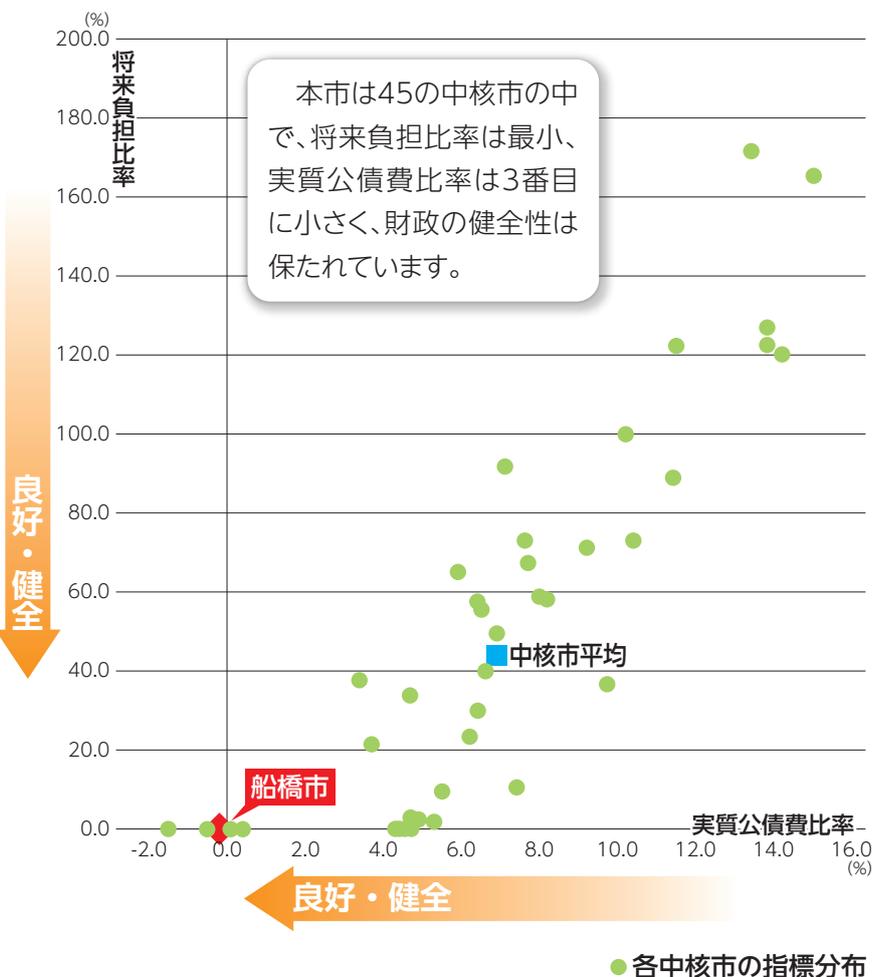
このうち特に大切な2つの指標を説明します。

### 健全化判断比率

(平成27年度決算 単位：%)

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	-0.2	6.9	25.0
将来負担比率	—	44.1	350.0
実質赤字比率	—	—	11.25
連結実質赤字比率	—	—	16.25

### 実質公債費比率と将来負担比率における他の中核市との比較 (平成27年度決算)



### 実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済額が少ないということです。平成27年度決算では-0.2%となっており、全国の中核市45市中でも3番目の小ささです。

### 将来負担比率

市の実質的な借金が歳入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来負担が少ないということです。平成27年度決算では、将来負担すべき負債を貯金などで十分返済可能なため、「—」で表示しています。

これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定しなければなりません。本市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。他の中核市と比較しても財政の健全性が保たれています。

# 健全な財政の維持と行財政改革

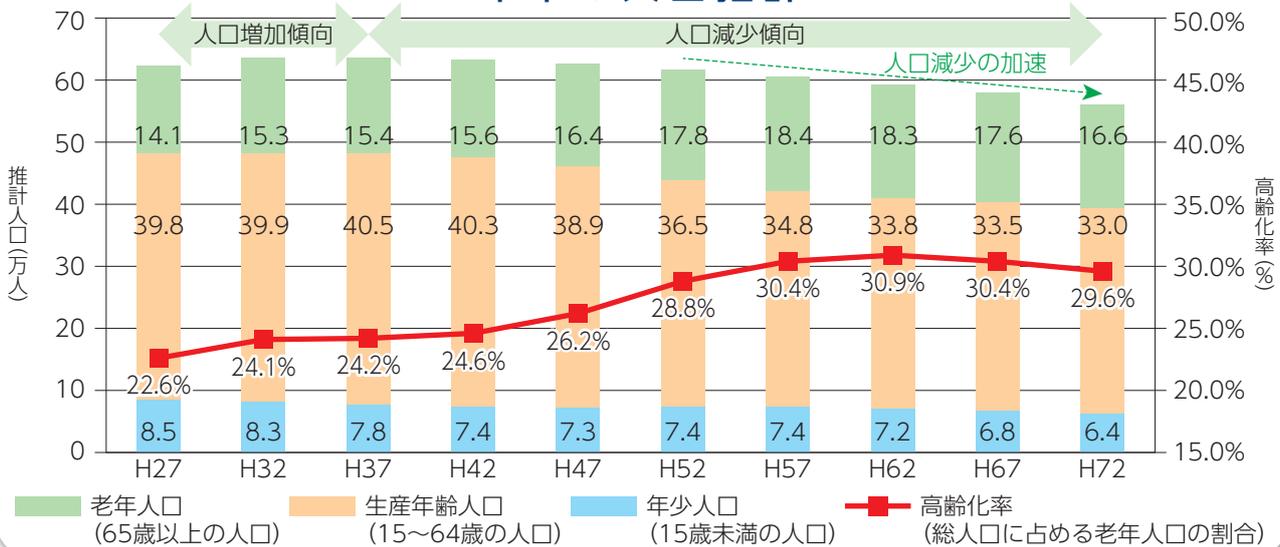
本市の財政状況は前ページまでのとおり、国が示す財政の早期健全化基準を下回っており、健全性が保たれています。それでは、この財政状況を維持していくためにはどうしたらよいでしょうか。

ここ数年は、景気の回復による市税収入の増加等により、積極的な予算編成ができていますが、不足する財源を補うためには十分な財源調整基金が必要です。平成27年度決算では、財源調整基金の残高は約10億円の減となりました。（平成28年度決算見込みでは、約47億円の減となりました。）

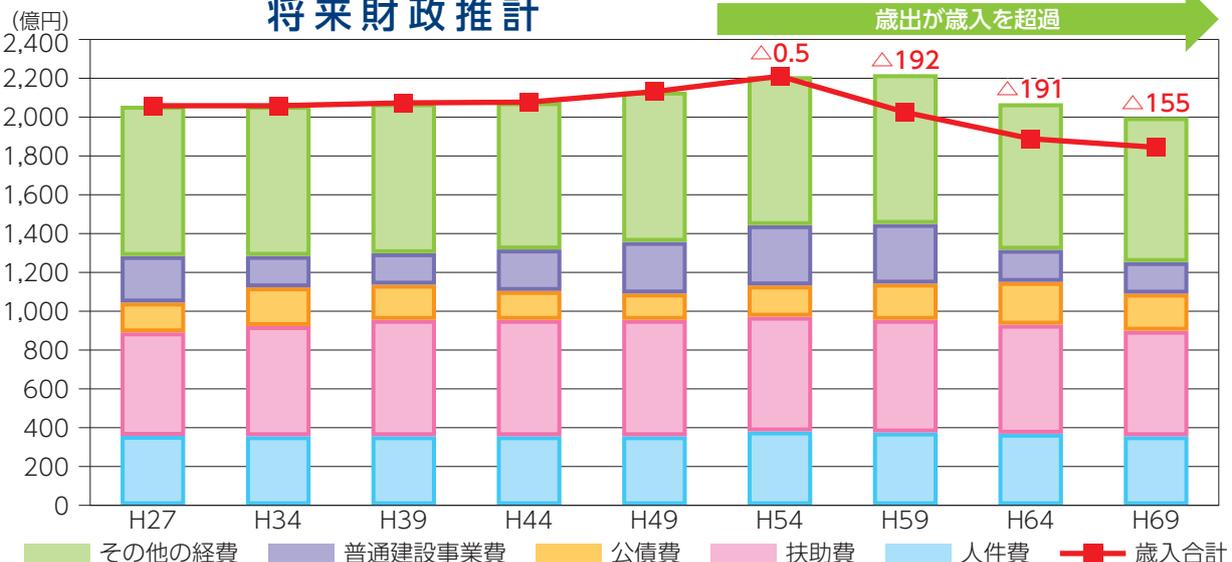
また、山積する諸課題の解決や年々高まる行政需要に比例して予算規模も大きくなり、老朽化した公共施設の耐震化・長寿命化に加え、建て替えなど大規模な事業も予定されており、その財源として多額の市債の発行が見込まれます。

市では、将来も、必要となる行政需要に対応していくためにはどのような備えが必要となるかといった課題を洗い出すために、平成27年度に策定した「人口ビジョン」に基づき、本市の財政の特徴の分析、今後の大規模事業などの条件を設定し、「将来財政推計」を作成しました。

## 本市の人口推計



## 将来財政推計



## 「将来財政推計」により見えてきた課題

市の予算には人口の影響を受けやすいものが多くあります。市の歳入の約半分を占める市税のうち個人市民税は、15歳から64歳の生産年齢人口に大きく影響を受けます。また、子育て支援や高齢者福祉といった社会保障費は対象となる年齢の人口に影響を受けます。このため、「将来財政推計」を行うにあたっては、「人口ビジョン」による年齢別人口推計を踏まえて行っています。

一方で、公共施設等の維持管理費など、人口が変化しても施設の規模が変わらなければ同じようにかかる費用もあります。

このように、「将来財政推計」の算定にあたっては、人口の影響を受けやすいもの、受けにくいものを整理したうえで、今後の収支を計算しました。

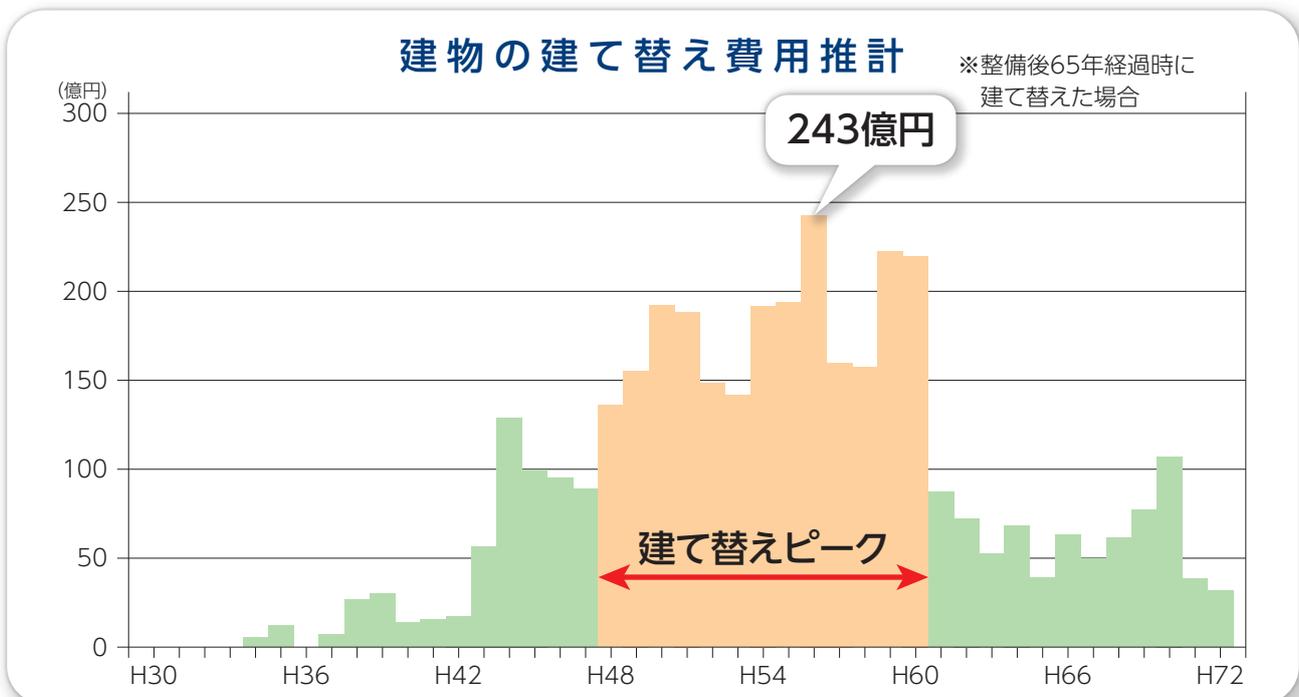
- 少子高齢化により生産年齢人口が減少することによる税収の減少
- 社会保障費の増大
- 公債費の増加
- 既存公共施設等の更新

## 老朽化する公共施設等をどのように管理していくの？

人口動向や財政状況を踏まえ、市が保有する公共施設等の状況の一元管理、長寿命化、建物施設の適正配置を行うために、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定しました。

昭和40年代（1960年代半ばから70年代）の急激な人口増加に合わせて集中して整備された建物は、整備から30年以上が経過し、平成40年代（2020年代）後半から建て替え時期が集中します。

### 全ての施設を現在の規模で建て替えるとどうなるの？



全ての施設を整備後65年経過時に現在の規模で建て替えた場合、平成54年度（2042年度）以降、支出が収入を上回る見込みとなりました。市として、この財源不足などへの対応を考えなければなりません。

### 3つの課題と基本方針

公共施設等総合管理計画では、①公共施設等の老朽化、②人口減少や少子高齢化による人口構成の変化、③平成54年度以降の支出超過といった課題について、将来の船橋市を担う世代に負担をかけないように、公共施設等を適切に維持管理していくことや、多様な需要にも対応していくことが必要であることを示しています。今後は、基本方針によりこの計画を推進していきます。また、個別の施設ごとに計画を作成し、各施設の管理の方向性を考えていきます。

(1)公共施設等の老朽化

(2)将来の人口動態

(3)厳しい財政状況

将来にわたり安全で安心できる快適なサービスを提供するために…

#### この計画を推進する基本方針

① 公共施設等の最適な配置

② 安全安心な公共施設等の整備

### 将来に備えた取り組み

「人口ビジョン」・「将来財政推計」・「公共施設等総合管理計画」を作成することで、人口減少・社会保障費の増大・公債費の増加・公共施設等の更新需要等の要因により多額の財源不足が生じるという課題が見えてきました。

市では、公債費の増加に備えて、計画的に減債基金への積み立てを始めました（※17ページ参照）。また、公共施設等の更新に向けた財源確保のための方策として基金の積み立てを行うことを検討していきます。

さらに、税収の減少、社会保障費の増大といった課題解決に向けて、民間委託やICTの活用も含めた業務改善による行政コストの削減、事業の優先順位付けの徹底などにより限られた財源を最大限に活用する行財政改革を進めます。

平成28年度決算見込みでは、財源調整基金の残高が「将来財政推計」より大きく減少する見通しとなりました。

今後も、人口の動向を注視し、「将来財政推計」を毎年度の決算のきめ細かな財政分析により見直しを行い、将来に備えていきます。





# 船橋ふるさと応援寄附金 (ふるさと納税)

本市出身・在住の方をはじめ、全国の「船橋を応援したい・盛り上げたい!」という皆さんから頂いた寄附金を市の魅力を高める様々な事業に役立てます。皆さんからの応援を心からお待ちしております。

**一定金額以上のご寄附をいただいた方にお礼の品を贈呈します**

1万円以上のご寄附をいただいた方に対して、船橋をより知っていただけるようにゆかりのある産品をお贈りします。



船橋のなし

寄附した金額のうち2,000円を超える部分について、所得税と個人住民税から一定限度額までが控除の対象となります。

いただいた寄附金は、船橋市のめざまちの姿の6分野の各事業に活用させていただきます。ご寄附をいただく際に、6つの分野、または「市長におまかせ」から、いずれか一つをご指定ください。

## 平成27年度は下記の事業に活用しました

1

### 非常時への備えのあるまちづくり

都市防災機能・自主防災の向上ほか

「防災マップ、防災ハンドブック、洪水ハザードマップの制作、防災行政無線バッテリーの購入」に活用。

4,820,000円

2

### 安心して暮らせるまちづくり

保健・医療体制の充実、自主防犯活動の推進ほか

「海老川ジョギングロードの照明灯、道路の照明灯の設置」に活用。

4,132,476円

3

### 未来へつなぐ恵み豊かな環境のまちづくり

省エネルギー化の推進、再生エネルギー導入の推進ほか

「町会・自治会が防犯灯を設置する費用の補助金」に活用。

3,077,000円

4

### 笑顔があふれる子育てのまちづくり

子育て支援の推進、教育環境の充実ほか

「小・中学校図書館の書籍、書架購入」に活用。

5,560,000円

5

### 人が集まる元気なまちづくり

駅周辺の整備、産品・産物ブランド化の推進ほか

「船橋駅前歩道橋のデジタルサイネージモニターの設置」に活用。

1,390,000円

6

### 市民に愛され、育まれるまちづくり

市民参加のまちづくり、「ふなばし」情報の発信ほか

「まちかど音楽ステージの運営費」に活用。

650,000円

7

### 市長におまかせ

寄附金の使い道は市長におまかせいただきます

「小学校のデジタル教科書、教室用パソコンの購入」に活用。

10,216,444円

詳しくは、船橋ふるさと応援寄附金ホームページをご覧ください

お申込み・お問合せ先／政策企画課ふるさと納税担当／TEL047-436-2461

船橋市 ふるさと納税

検索



船橋市の予算や財政に関する詳しい情報は市のホームページでご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.funabashi.lg.jp/>

[トップページ](#) ▶ [市政・市の紹介](#) ▶ [財政\(予算・決算\)・市債発行](#) から  
アクセスしてください。

平成29年7月

発行／船橋市

編集／企画財政部財政課 047-436-2152